

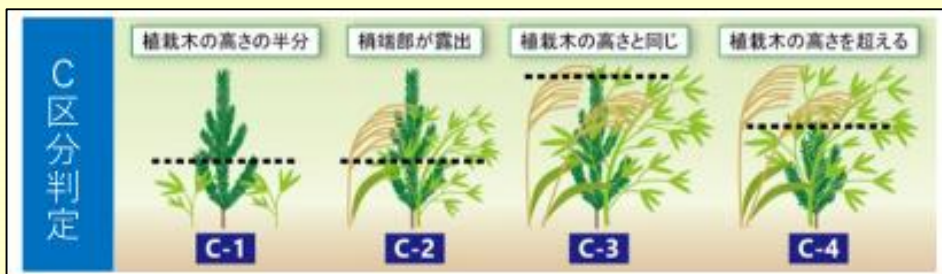
課題3

超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用

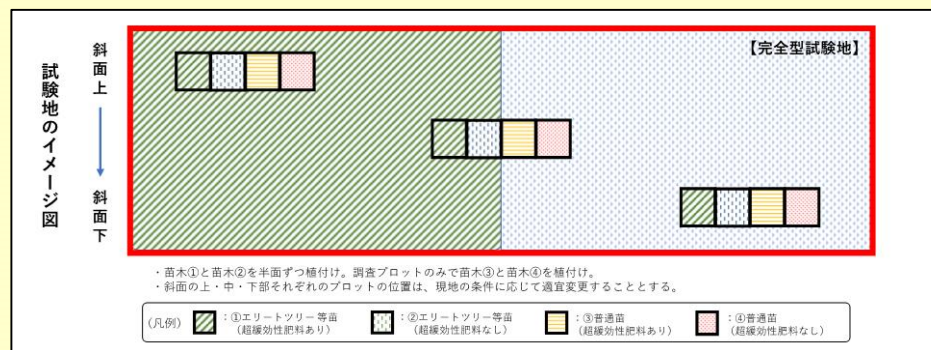
期間：令和7年度～令和11年度

全国の国有林全体で横断的に取り組む課題として、下刈回数の縮減による造林の省力化・低コスト化等が期待され、今後、供給体制が整備されてくるものと考えられているエリートツリー等コンテナ苗（特定苗木含む）を東北森林管理局管内の国有林内に2試験地設定し、令和7年度から植栽試験を実施することになりました。

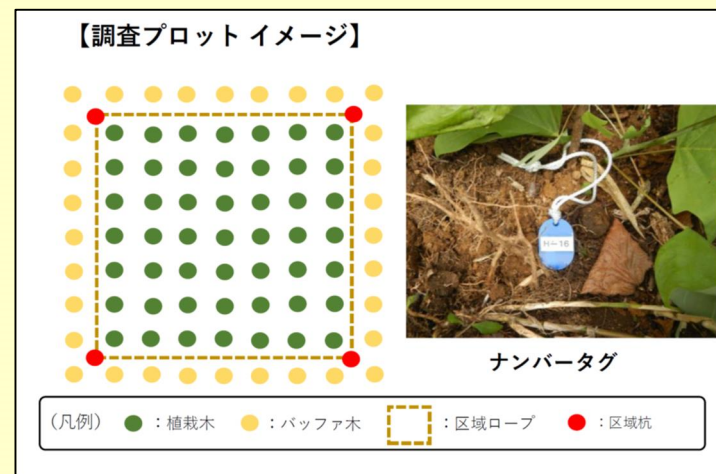
今課題の目的として、エリートツリー等コンテナ苗は成長初期に十分な栄養が必要と想定されることから、植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を育苗期に用いた苗を植栽し、施肥による成長促進効果や植栽適地等について検証を行うとともに、5年後の実用化を念頭に再造林の低コスト化の可能性について検証し、エリートツリー等コンテナ苗の普及を目指します。



C区分判定（下刈実施判断の基準となる判定方法）



試験地の設定方法（イメージ図）



プロット設定方法